



デザインを通してクライアントの将来のビジネスチャンスに貢献

和歌山大学の学生が中心になって活動する「クリエプロジェクト」の実績は幅広い分野にわたっています。今回は、デザインを中心に活動している「クリエデザインプロジェクト」について、荒川七海さん（2 回生）、指導教員の松延助教にお話をうかがいました。

クリエプロジェクトとは
和歌山大学での学生の自主性・創造性を一層高め、その学習をより実り多いものにするために、学生の主体的な学びを支援するプロジェクト型・課題解決型学習の制度が「クリエプロジェクト」。和歌山大学のすべての学生に門戸を開き、プロジェクトを立ち上げることが出来ます。文系、理系、学部や研究科は問わず、参加を呼びかけています。

デザインは人間の生活を中心に
デザイン関係の職種を目指す学生には、商品のデザインのみを考えるのではなく、商品

を取り巻く「生活に関わる全体」を考えてデザインを提案するようになります。取り扱うものによって若干異なることはありますが、①工場視察②市場調査③設計④評価を経て試作へというプロセスになります。
ユーザーがどのように考えているかを考えることが重要で、市場調査に特に力を入れています。単にデザインを考えるだけではなく、クライアントに提案していくまでのプロセスを体験していきます。



クリエデザインプロジェクトのみなさん



デザイン検討の様子

松延助教は「デザインは人間の生活を中心に考えて、芸術作品ではない」ということを学生に伝えています。

教育の一環としてのプロジェクト

プロジェクトにおいて、学生はまずクライアントからの依頼内容を理解し、スケジュールを検討します。学生の日頃の研究や講義と並行して活動を進めるため、納期の調整が課題となる場合もありますが、指導教員がその調整を支援します。

荒川さんは、「先生やクライアントとの調整があるおかげで、安心して提案に集中できます」と語ります。

希望するデザインを考えるプロセス

学生は、クライアント

トのビジネスチャンスを広げるためのデザイン提案を個別に行います。他の学生と競い合うことが、より良いアイデアの創出につながる仕組みです。ただし、その競争は学生に過度の負担をかけないよう配慮されています。
学生の実践的なスキルアップと、クライアントのビジネスチャンスを創出するという相互のwin-winを構築していくことは、クリエデザインプロジェクトにとって、これからの人生での貴重な糧になることは間違いないといえます。（森下和紀）



和歌山大学クリエプロジェクト（学生自主創造支援部門）
<https://www.wakayama-u.ac.jp/crea/crea-project/>
和歌山大学クリエデザインプロジェクト
<https://web.wakayama-u.ac.jp/~matunobe/CDP/>



2024年度 わかやま SDGs パートナースHIP基金

今年度のご寄附を受け付けています

みんなの力で SDGs 達成を！



今年度はこども食堂・地域食堂をはじめ、地域コミュニティの再生につながる活動を応援します

和歌山県内の「こども食堂」は和歌山県調べで91カ所（2024年11月末現在）となっており、年々増加中。和歌山県は全小学校区に1カ所、約200カ所のこども食堂の開設を目指して取り組みを進めています。名称こそ「こども食堂」ですが、子どもだけではなく、保護者、一人暮らしの年寄りなど様々な方が利用できる「地域食堂」としての役割を担う場所が増えており、こども食堂・地域食堂が「地域コミュニティの核のひとつ」を担えるのではないかと期待されています。

一方、住民が集まれる場として、自宅にある不要になった本を持ち寄りみんなで共有し楽しむ「みんなの図書館」、空き家や空き店舗を活用した「みんなの居場所」などといった形での地域コミュニティの再生を目指す取り組みも急速に広がっています。

そこで、今年度のわかやま SDGs パートナースHIP基金では、こども食堂や地域食堂など「食を通じた地域福祉・コミュニティ再生」、みんなの居場所など「コミュニティづくり活動」に携わる団体に対する助成を実施します。現在、この助成金の原資となる基金へのご寄附受付を実施しています。

高齢化の進展だけではなく、高齢人口の減少も始まり、今後の地域の担い手になる現役世代への負担がますます増大することが懸念されています。みなさんのご寄附を、地域コミュニティの再生等に役立てられるよう準備を進めています。ぜひみなさんのご協力をいただきますようお願いいたします。

主な使途

- ▶ こども食堂・地域食堂の運営経費
- ▶ みんなの図書館・みんなの居場所の運営経費・初期費用として
特に、その事業をおこなうことで「地域にどのような効果が期待できるのか」を重視して、審査を実施する予定です。

ご支援の方法

- ▶ 1口3,000円からクレジットカード決済・銀行口座への振り込みにより受け付けます。右のQRコードからアクセスできます。



- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。

※ 寄附金控除について

個人の方は、ご寄附いただいた金額から2,000円を差し引いた金額の最大50%が、確定申告により所得税等から控除されます。（例）1万円をご寄附いただいた場合は、最大4,000円が所得税等から控除されます。

法人の場合は損金算入限度額が拡大されます。（例）資本金1,000万円、所得金額1,000万円の場合、一般損金算入限度額約6.9万円とは別に、特別損金算入限度額約33.1万円までのご寄附が損金に算入できます。

【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 info@wnc.jp https://wnc.jp/
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

